

金子大榮先生著

大無量壽經の概要

四六版美装全一冊

定價 壹圓參拾錢

送料 六錢

新著出づ

曩に「教行信證の概要」を世に示した著者は、かの書と同じ機縁により今や淨土教一眞宗の根本教典たる「大無量壽經の概要」を説いてこの一書を成した。著者、故あつて緇衣を脱し、教壇を退いたが、爾來愈々深く淨土眞實教の體驗に沈潜し、聖人親鸞の宗教を解行して道友に語る。この唯一無二の生命的精進の外に著者は全く他念ないのであらう。筆硯を新にして公にせられた「大無量壽經の概要」鮮かに此經の宗を説き體を示し、而も又始終一貫して問題の要を盡して餘蘊ない。發行者は初版に於て教界未曾有の部數を印刷用意せるも旬日ならずして賣切れん、再版は更に日時を借らざるべからず、夫れ速かに御註文あれ。

同 先生著

第 四 版

佛 教 の 本 質

四六版 定價 壹圓八拾錢

全一冊 送料 拾 錢

同

第 六 版

淨 土 の 觀 念

四六版 定價 壹圓參拾錢

全一冊 送料 六 錢

發 行 所

京 都 市 寺 町 通 三 條 上 ル
振 替 穴 五 七 四
電 話 七 七 一
文 榮 堂

堂 榮 文

寺本婉雅先生著

改訂
增補

西藏語文法

菊判クローヌ

全一冊

定價金四圓

送料金貳拾七錢

世界の秘密王國たる西藏語學は梵・巴兩語と共に我が佛教原典の基礎的語學として殊に大乘佛教の比較研究の對象として東洋語學・史學の領域を超えて原始佛教學の上に特異の位置を有せり、而して本語實習文典として初學の學習に指針を與へたるものは實に本書を措きて他に之を見ず、先生曩きに本文法書を公刊し帝大及大谷大學等の講座に於て實地教授を重ねられたる後更らに其完璧を期する爲め全部に亙りて改訂補足し西藏所傳の原典を鮮麗なる寫眞凸版として西藏活字に代へ、新たに巴語藏譯の「阿含轉法輪經」・梵語藏譯「阿含轉法輪經」・西藏譯「異部宗輪論」等の貴重史料を加へ殆んど舊觀を改め茲に其發兌を見たり。學界至重の書一般佛教史學研究の士に薦む。

社 會 式 株 刷 印 版 出 外 內

南條七院河西市都京
番一三九三阪穴替橋

所 行 發

高野山大學 助教授 大山公淳 著 (五〇〇部限定版)

最新刊 聲明の歴史及び音律

口繪寫真十二一葉
菊版本文三八〇頁
定價 三圓
送料 二十七錢

佛敎の聲樂たる聲明は東洋古聲樂中の隨一であり、殊に我邦の聲樂史に於てはその第一頁を占め、後代の聲樂即ち謡曲を初め古淨瑠璃乃至徳川期の諸派の淨瑠璃等何れも直接間接その影響を受けてゐる。聲明に伴ふ樂器の類は日本樂器の根源を成し、その音譜亦永く日本音樂界を支配した。かくて聲明は日本音樂の母體とも稱すべきものである。然るに惜むらくは未だ之が総合的な研究は無かつたのである。本書の著者大山公淳氏は聲明の根本道場なる高野山に在り同大學に教鞭をとる傍ら、高野系はもとより比叡系の聲明に及び、それらの相承並に分派等に關する史的研究と併せてその音律を科學的に究明し、着手以來五星霜、遂に本書を成したのである。音樂史家に取つては正に渴望の書であり、敎界學界に取つても忘るべからざる重典となるであらう。

聲明の歴史

- 一、源流—印度及び支那
- 二、「魚山」の名稱と「魚山私鈔」の内容
- 三、弘法大師及びそれ以後
- 四、慈覺大師の相傳
- 五、比叡山聲明の傳來
- 六、良忍上人及び門下
- 七、東密家聲明の傳持
- 八、乞戒聲明の傳持
- 九、諸流聲明の分別と進流の弘通
- 一〇、中古に於ける高野山聲明

- 一一、仁和寺流の相傳と醍醐聲明
- 一二、隆然及びその後
- 一三、大原聲明の相傳と魚山目錄
- 一四、長惠及びそれ以後
- 一五、新義眞言の傳持
- 一六、魚山薑芥集の傳承とその種類
- 一七、聲明本の刊行
- 一八、魚山集の附録に就て
- 一九、四座講緣起とその傳承
- 二〇、音譜の名稱と五音譜の歴史的變遷
- 二一、系譜外の人々とその著書
- 二二、普門院流聲明目錄

聲明の音律

- 一、十二律と五音
 - 二、呂律
 - 三、中曲
 - 四、四種反音
 - 五、五章反音
 - 六、初心探調子口傳
 - 七、諸種聲明の呂律と甲乙
 - 八、拍子と曲節
 - 九、聲明博士の決定
 - 一〇、講式に就て
 - 一一、四聲の研究
- 以上

發賣所 東京本郷三丁目 大雄閣 電話 小石川三六一〇 電話 振替口座 東京六六九二

༄༅། བཀའ་འགྲུབ་གྱི་དཀར་ཆག།

大谷大學
圖書館藏

西藏大藏經甘殊爾勘同目錄

第一卷

- ◎本目錄は寺本教授將來本大學圖書館所藏の康熙殿板赤字甘殊爾 (bkah-hgyur 經律部) の目錄で大谷大學圖書館藏書目錄の一として出版されたものである。
- ◎内容は各經典の梵名、西藏名 (西藏活字を使用す)、その譯名、翻譯者名、對同する梵・巴の原本、漢譯經典を詳細に探索し、その分卷、分品、品名に至るまで各々對照記入をなし加之西藏經版の異本として知らるゝナルタン、デリゲの兩版における所在葉數行數をも一々引用參照せしめてある。
- ◎此目錄は本學が大正十五年四月以來櫻部文鏡氏を西藏圖書整理囑託となし、寺本教授と協力の下に調査證定對攷整理に従事せしめ、今年に入りて漸く甘殊爾部の稿を脱したるもの、先づその第一門 Rgyud 即ち Tantra 部 (主として密教經典陀羅尼、儀軌等) が第一卷として茲に公にされたのである。第二卷は般若 (寶積・華嚴・諸經部一。第三卷は諸經部續、律部に序文・補正・索引・表紙・扉等を附し完結の豫定である。
- ◎今や佛教學界は翕然として大乘經論の研究に向つてゐるが研究資料として梵語原典の稀少なる爲、こゝにその内容の豐富譯語の梵本に親しき點等よりして、漢譯と相俟つて第一に西藏佛典を研究せずしてはその歩武を進め得ざるが如き事情にある。本目錄はこの狀勢における學界の要求に應じて、恐らくは研究の羅針盤ともパイロットともなる役目のものであらう。
- ◎世の眞摯なる學究者の机邊に敢て一本を薦むる所以である。

◎第一卷、四六倍版 假綴 182頁

定價 { 國內 4圓 送料 内地 18錢 臺、鮮、樺, 45錢
 { 外國 15志 (送料共)

發行所 京都市上京區小山上總町 大谷大學圖書館

振替大阪57677番(大谷大學出版部)

印度佛教固有名詞辭典

四六倍版。八百餘頁。五冊に分く。
定價 貳拾五圓
特價 昭和五年十二月限
一時拂 拾五圓。分拂 拾六圓。第一冊
(既刊) 第二冊(既刊) 參圓。第三冊
(十月刊) 參圓 第四冊(十一月刊) 參圓
第五冊(昭和六年二月刊) 參圓

一、本書は巴利三藏を基本とし、梵語、西藏語、漢譯の經典中、印度佛教に關する限り一切の固有名詞、即ち佛菩薩、比丘、比丘尼、優婆塞、優婆夷、王、王妃、婆羅門、外道、部派、町村、山河、寺塔、馬、象等を檢出したもので、收容語彙四千五百を超過してゐる。

二、語彙の掲出は巴利語を主とし、巴利聖典中にはなき梵語聖典、並に漢譯經典中のみある語彙は梵語を以つて見出し、アルハベツト順に配列し、各語に原音、音寫、音略、譯語等は勿論、其に關係の古來の註釋書から最近の我國及び泰西の研究を涉獵し、その一々の出典頁數を明記してある。

一、卷末に「音引漢譯索引」及び「劃引冠字檢音」が添へてあるから、漢譯からも自由に所要の語を檢出する事が出来る。例へば「秋露子」なる語を卷末索引に依つて繕く、其は舍利弗のことで、舍利子舍利弗多、舍利弗羅、舍利弗多羅、舍利富多羅、舍利補怛羅、鷲子、優婆提舍等とも云はれてゐる事、其等は何なる經論の何處に出て居るか、舍利弗の傳記及びこれに關する研究文献は如何等一目の下に知る事が出来る。

漢巴四部四阿含互照錄

略稱「赤沼目錄」

菊版。洋布裝。全一冊。

四四〇頁。定價六圓參拾錢。

内容は四部よりなり、(一)先づ漢譯四阿含(約二千一百經)の經目番號を逐一に掲出して、其丁數を縮刷藏經並に大正藏經によつて明示し、これに巴利本相當經並に漢譯異傳他部編入の異本、梵本、西藏譯其他の存否を精細に列示し、(二)次に巴利傳長中相應増支の四部(約一萬八千經)の經目番號を列示し、これに漢譯四阿含其他異傳、梵本等の相當經目を配次し、巴利諸傳相互間の類經を對覽し、其出丁を明示してある。(三)次に附録として(イ)別譯雜阿含、(ロ)單本雜阿含、(ハ)七處三觀經、(ニ)阿含部現存梵夾、(ホ)西藏譯阿含經典について、詳密に對照し、(四)最後に補遺として、漢巴相互中の類經や偈頌の同文出據について細大漏らさず記入提示してある。